

(1) 保存地区の概要

地区名 廿日市市宮島町

種別 門前町

面積 約16.8ヘクタール

選定年月日 令和3年8月2日

特徴 廿日市市宮島町伝統的建造物群保存地区は、厳島神社の門前町で、弥山(みせん)が海に迫る海岸の狭隘地に形成された西町と東町には、戦国時代に由来しつつ、江戸後期までに形成された特徴ある地割が良く残る。江戸時代から昭和20年代に至る伝統的な町家や和風住宅が、山麓に位置する寺社建築や社家住宅と一体となって、厳島神社の周囲に栄えた門前町の歴史的風致を良く伝えている。

(2) 保存地区のあゆみ

平成17・18年度 伝統的建造物群保存対策調査
(2005・2006)平成27年度 伝統的建造物群保存地区保存条例
(2015) 制定令和元年度 宮島町伝統的建造物群保存地区
(2019) 都市計画決定・保存計画 策定令和2年度 宮島町伝統的建造物群保存地区
(2020) 保存活用計画 策定令和3年度 重要伝統的建造物群保存地区 選定
(2021)

(3) 保存地区の保存と整備

実施年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
修理	5件	3件	2件



(4) 保存地区の活用とまちづくり

まちなみの魅力発信(まちなみ通信発行)

令和3年3月1日号
島野伝太郎一家の
まちなみ通信 No.22
～島内にある瓦の紹介～



伝太郎: この前、「まちなみ通信」の記事はマニアックだわって言われたよ。

もみじ: 今朝は瓦の話でしょ。町家が瓦葺きで、お寺や神社が本瓦葺きが多いぐらい。私でもわかるからマニアックにはならないでしょ。

マイク: 瓦ですか。日本の瓦は種類やデザインがいろいろあって、見ていて飽きないですね。

伝太郎: そうかな。確かに重瓦や軒の瓦などデザインが多いような気はするけど、マイクもそれを覚えていて説明できるのはすごいね。だじやね、お父さん武蔵か。

もみじ: そういわれると、昔「さるがわら」って言う種瓦があるってお父さんが言ってたわね。(令和2年3月 No.10号参照)



マイク: 瓦ですが、日本の瓦は種類やデザインがいろいろあって、見ていて飽きないですね。

伝太郎: そうかな。確かに重瓦や軒の瓦などデザインが多いような気はするけど、マイクもそれを覚えていて説明できるのはすごいね。だじやね、お父さん武蔵か。

もみじ: そういわれると、昔「さるがわら」って言う種瓦があるってお父さんが言ってたわね。(令和2年3月 No.10号参照)



マイク: 神社の瓦見たい、厳島神社の御神紋「三ツ亀甲銅花菱紋」があって、日本の瓦職人はすごいと思いました。

伝太郎: よく気がついたね。それに、紋の名前まで知ってるなんて、マイクは宮島の歴史マニアになってきたね。

マイク: 私はまだなんです。建吉さんはもっとすごい。この前玉置院に行った時、本堂の瓦の話を聞きました。

もみじ: だじやね、お父さん武蔵か。

マイク: そういわれると、昔「さるがわら」って言う種瓦があるってお父さんが言ってたわね。(令和2年3月 No.10号参照)

もみじ: そういわれると、昔「さるがわら」って言う種瓦があるってお父さんが言ってたわね。(令和2年3月 No.10号参照)

もみじ: そういわれると、昔「さるがわら」って言う種瓦があるってお父さんが言ってたわね。(令和2年3月 No.10号参照)

今昔写真を見比べて



上の写真は、昭和40年代の町家通り(幸町西表)の様子です。駐車場は無く、家が隙間無く、軒を揃えて建ち並んでいます。突き当たり「塔之間隧道」は開通しています。

下の写真は、現在の様子です。道路の地中化により、スッキリした景観になっています。(コロナの影響により人がいないのが、寂しい限りです。)

右の町家は、1階の木製建具のデザインが変わっています。左の「くま金商店」は、今も変わらず現在位置で営業していますが、隣の「タカキバーカー」の看板は撤去され、パン屋は閉店しています。

また、交通標識や、空調の室外機が見えるようになり、生活の内部・外部に変化が見られます。

建築物改修の補助事業(令和4年度の希望者募集)(再掲)

令和4年度の修理・修繕等に活用できます。市に相談してください。(令和3年度は既に締切済み)

補助対象: ①特定物件として保存計画に登録されている建築物の外観を復元する修理事業 ②伝統的建造物群保存地区内にある①以外の建築物の外観を古い町並みに合わせた新築・改修事業

応募締切: 令和3年3月30日(水)

その他: 応募多数の場合は、優先順位により、時間の調整をさせていただきます。また、令和5年度以降の事業を検討している方も、事前にご相談ください。

まちなみ通信 No.22 (令和3年3月1日) 発行
廿日市市建設部都市計画課歴史まちなみ推進係
TEL (0829) 30-9183 FAX (0829) 31-0099

「みやじまの町家に親しむ会」

宮島まちづくり交流センターの登録クラブとして設立されました。宮島の町家や町並みの学習や情報交換の場としての定例的な活動を行っています。入会を希望される方は下記までご連絡ください。

と き: 毎月第二金曜日 13時30分
【第1回目は5月9日(金)】
ところ: 宮島まちづくり交流センター
会 費: 1,000円/月
連絡先: 090-8060-8505 (白木)

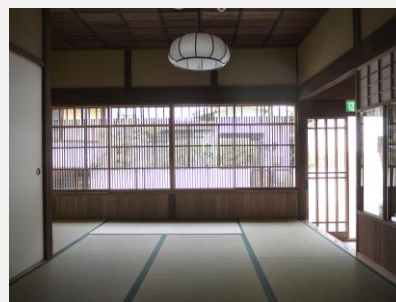
まちなみの魅力発信(まちなみツアー)



まちなみの魅力発信(まちなみ動画)



伝統的建造物活用(空き家を宿泊施設へ転用)



(5) 住民等の取組

●みやじまの町家に親しむ会

地元住民有志の組織が宮島の町並みについて学び、その魅力を発見・発信する活動を行っている



●いつくしま・まちなみ研究会

地元の建築士や学識経験者の組織が宮島町家の特徴や伝統工法などを研究、発信する活動を行っている



●伝建宮島工務店の会

地元の工務店や関連事業者の組織がいつくしま・まちなみ研究会と協力して宮島町家の工法などを学び、事業に活かしている

